

日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

No.51

目次

・新理事長からのご挨拶	1
・新理事のご紹介	2
・第16回日本生殖看護学会学術集会、優秀賞を受賞して	3
・平成30年総会報告	4
・平成30年度予算	5
・第13回生殖看護実践セミナーの開催案内	5
・これから行われる学会・研修会情報	6
・勉強会開催報告	6
・勉強会の支援と助成	6
・理事会報告	7
・学会誌への投稿のお願い	8
・事務局からのお知らせ	8
・編集後記	8

新理事長挨拶

理事長 上澤悦子



前理事長 野澤美江子氏から代わり、第6期理事長の任を拝命いたしました上澤悦子です。4期・5期では副理事長として理事長を支えてきたものの力不足は重々認識しております。そのため、会員の皆様と新理事のお力をお借りして、本学会を代表していきたいと考えております。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

さて、生殖医療系学会は多々あるなかで、本学会は唯一の生殖看護の専門学会です。

生殖医療は急速に進みましたが、30歳代前半の女性でもART生産率は20%前後であり、治療期間にかかわらず成果は不確かななか、カップル間での意思決定支援や心身の健康管理など、不妊症看護認定看護師の専門的ケアは不可欠です。また、何よりも子どもというかけがいのない生命を育成する親になるための支援も重要な領域です。次世代育成に関わる本学会の使命は大のはずですが、少子・超高齢・多死社会へと変化するわが国の現状から、日本看護協会は、認定看護師制度の再構築を開始しました。在宅医療をはじめとしたあらゆる場に対応するために特定行為研修（臨床推論力・病態判断力を強化する研修）を重視せざるを得ない社会動向と不妊症看護課程への応募数も鑑み、長年、本教育に尽力・奮闘された森明子先生は、2020年の不妊症看護課程への募集を中止されることを決断されました。

そんな中、われわれがしっかりと社会にコミットメントしていく具体的策は、前理事長が伝えた将来構想の具現化である、「生殖看護の概念化」「生殖看護のコンピテンシー（能力・行動特性）の明確化」と「学会活動の充実化」「関連職種・関連学会との連携」の継続です。

さらに、研究活動を活発化するために研究助成金や申請時期の見直しも行いました。各委員会も活発な活動を計画しています。会員の皆様お一人おひとりの日ごろの看護活動の成果をぜひ、本ニュースレターや学会誌、学術集会等でご発表ください。まずは、発信していくことが重要と考えます。

また、本学会は看護系学会等社会保険連合（看保連）と健やか親子21（第2次）の推進協議会メンバーとして、ワーキンググループ活動をしています。これらへの活動も通して、生殖看護の役割や活動を広く市民に発信できればと考えています。

理事を代表しまして、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新理事の紹介



副理事長、将来検討委員

野澤美江子氏

今期より副理事長と将来検討委員を拝命しました。学会の発展に向けて理事長を支援し、学会員のニーズにつながるような研究助成の運営と管理、研究促進活動、国内外の情報収集に努め、学会の将来構想を検討します。



総務

森 明子氏

総務および看保連WGを担当します。学会事務局の運営をはじめ、庶務業務が円滑に行われるよう努めます。また、診療報酬と生殖看護との距離が縮まるよう、エビデンス作りや情報共有など会員の皆様とともに考え、活動していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



会計

清水清美氏

本年度より会計担当は2名の理事と1名の幹事体制となりました。皆様の会費が有意義に活用されるよう、明瞭かつ公平な管理及び報告を目指したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



会計

中村 希氏

今期、理事に就任し、会計を務めさせていただきます。生殖看護の発展のため、学会員の皆さまが有意義に活動継続できるよう会計管理していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



編集委員

坂上明子氏

今年度より編集委員会を担当させていただきます。学会員の皆様が研究成果や日頃の実践活動をより公表しやすくするための新たなシステムも検討していきたいと思っています。どうぞ宜しく願い申し上げます。



編集委員

崎山貴代氏

編集委員会を担当する崎山です。質の高い学会誌の発行を通して、生殖看護の発展に努めていきたいと思っています。また、論文を早く広く社会に還元するための方法も続けて検討していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



実践開発委員

村上貴美子氏

実践開発委員会では、不妊症看護認定看護師をはじめとし、不妊症看護に携わる看護職の方々のネットワークづくりや不妊に悩む方へ質の高い相談や看護が提供できるよう尽力したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



教育推進委員

柴田文子氏

今年度から教育推進委員になりました柴田と申します。よろしくお願いいたします。生殖看護にかかわる立場を越えて学びあえる機会を模索していきたいと思っています。ご協力をお願いします。勉強会の企画、あるいは構想など何でもお知らせください。



広報委員

實崎美奈氏

引き続き広報を担当させていただきます。ニュースレターを通して会員相互の情報提供、情報共有をはかりたいと思います。また関連学会等への積極的な広報活動により、会員数の増加に努めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



監事

村本淳子氏

前年に引き続き監事を務めさせていただきます。生殖医療を取り巻く環境は日進月歩です。広い視野に立ち、生殖看護がさらに発展していける学会になるように学会の質向上と会員数の増加に向けて努力していきたいと思っています。



監事

森 恵美氏

今期も村本先生と一緒に監事を引き受けさせていただきました。千葉大学大学院看護学研究科の森です。生殖医療の進歩発展に伴い、本学会の存在意義が増していると思います。本学会がさらに発展していくように役割を果たしたいと思っています。

第16回日本生殖看護学会学術集会報告 「治療と仕事の両立支援－女性が輝き続けるために－」

学術集会長 實崎美奈（産業医科大学）

今年の夏は全国各地で豪雨や台風による被害が、9月に入って間もなく北海道胆振東部地震が発生いたしました。被災された皆様およびその地域の一日も早い回復を願ってやみません。そのような中、平成30年9月9日（日）にアクロス福岡の国際会議場におきまして、平成最後の開催となる第16回日本生殖看護学会学術集会を開催いたしました。ご参加くださいました皆様、関係者の皆様にも心より感謝申し上げます。

今回は、生殖看護に関連する昨今の動向および私の所属先の特徴を踏まえ、メインテーマを「治療と仕事の両立支援－女性が輝き続けるために－」としました。特別講演は日本看護協会会長の福井トシ子氏による「看護職のワーク・ライフ・バランス 子どもを持つことを支援するとは」、ランチョンセミナーはセント・ルカ産婦人科院長の宇津宮隆史氏による「生殖医療医が看護師に希望すること 知っておいて欲しいこと」、シンポジウムは平安悦子氏（治療と仕事の両立経験者）、久保島美佳氏（不妊症看護認定看護師）、柳田洋子氏（看護管理者）、中谷淳子氏（産業保健師）がそれぞれの立場から「治療と仕事の両立支援」、一般演題（口演）5題、一般演題（ポスター）8題という構成での開催となりました。

一般演題の優秀賞には、「ART患者の採卵周期における時間的負担感に関する実態調査」西岡有可氏、新田悠季氏（東京HARTクリニック）、「手術を選択した男性不妊患者の思いとニーズ～術前インタビューから示唆される看護介入の一考察～」星るり子氏、朝野伊織氏、小笠原梓氏（横浜市立大学附属市民総合医療センター）、竹内祥子氏、中村幸代氏（横浜市立大学）の2題が選ばれました。閉会前に予告なしで受賞者の発表を行ったため、星様のチームには直接表彰状の授与ができなかったことを申し訳なく思っております（後日郵送させていただきました）。

学術集会には251名もの皆様にご参加くださいましたこと、参加後のアンケートには「実践に役立つ知識を得られました」「女性のおかれている状況を様々な立場から考えることができました」「情報収集とネットワークづくりができた」等の感想が多くみられたことから、開催の目標は達成できたと考えております。私がこれまでにお世話になったたくさんの方々にも囲まれ、皆様に支えられて今自分がここにいることに幸せを感じた一日でした。今後も会員の皆様とともに輝き続けてまいりたいと思います。



テーマ：「第16回日本生殖看護学会 優秀賞を受賞して」

東京HARTクリニック 西岡有可 新田悠季

今回「ART患者の採卵周期における時間的負担感に関する実態調査」ということで、患者様の主体的な時間的負担感に焦点をあてた発表をさせていただきました。日頃の業務に追われ、自分たちの看護について振り返る機会を持つことはなかなか難しいですが、今回の発表は自分たちの看護を振り返る機会となりました。私どもはクリニックで働く看護師としてこのような荣誉ある賞をいただくことができ、大変光栄に思います。アンケートに協力いただいた患者様、現場のスタッフ、その他応援して下さった皆様はこの場をかりて感謝します。ありがとうございました。

横浜市立大学附属市民総合医療センター 星るり子

この度は優秀賞に選んで頂き大変光栄に存じます。私達の演題は、男性不妊患者を対象にしたインタビューを実施し、膨大なデータを前に途方に暮れ研究の進め方に悩み、今回の発表までに2年半かかりました。この研究を生殖看護学会で発表できることを目標としていましたので、実際に発表することができ本当に嬉しく思います。これも研究協力者の皆様をはじめ、職場スタッフの皆様、御指導賜りました先生方のお陰です。ありがとうございました。今後は研究の成果を男性不妊患者さんの看護に活かし、現場に還元できたらと思います。

平成30年 日本生殖看護学会 総会報告

日 時：平成30年9月9日（日）13：50～14：20
 会 場：アクロス福岡 国際会議場（4階）
 出席者：会場出席者26名、委任状158通（本学会則18条により総会成立）
 議 長：實崎美奈氏（第16回学術集会長）

【報告事項】

1. 理事会報告（野澤理事長）
平成29年度に開催された4回の理事会および3回の臨時理事会の報告・審議事項
2. 総務（事務局）報告（森[㊟]理事）
平成30年8月9日現在、会員数は368名
会員管理、関連団体・機関への対応、学会ホームページの運営と管理を実施
3. 事業報告（平成29年9月1日～平成30年8月31日）
 - 1) 将来構想の検討（野澤理事長）
将来構想の検討事項として4つの短期目標、および短期目標4に該当する活動の一環として第20回日本IVF学会学術集会に共催としてパネルディスカッションを開催
 - 2) 常任委員会
 - (1) 実践開発委員会（村上理事）
NPO法人Fine主催の「Fine祭り2017」に本学会員の不妊症看護認定看護師を不妊相談員として派遣、不妊症看護認定看護師メーリングリストの運営
 - (2) 教育推進委員会（坂上理事、青柳理事）
関東地区の勉強会の実施支援、第12回生殖看護実践セミナーの企画・運営
第13回生殖看護実践セミナー企画・運営（台風により3月に延期）
各地区勉強会の支援および助成のお知らせをホームページ、NLに掲載、関東地区勉強会に助成金交付
 - (3) 広報委員会（代理：野澤理事長）
NL48～50号の企画・編集および発行、関連学会・研修会に発送、ホームページにNL掲載
学会案内リーフレット・学術集案内ポスターの配布とPR活動
 - (4) 編集委員会（崎山理事、有森理事）
学会誌第15巻第1号発行および編集活動
学会誌の電子化を検討、業者委託を検討
 - (5) 将来検討委員会（上澤副理事長）
国内外の情報収集と発信、研究助成の運営・管理研究助成の応募0件
会員の研究促進活動
 - 3) 特別委員会
 - (1) 看保連対応ワーキンググループ（清水理事、森[㊟]理事）
看保連社員総会、診療・介護報酬あり方検討委員会、三保連シンポジウム等の会議・研修会に参加し、最新の動向を入手
医系関連他学会との情報交換を行い、平成32年度診療報酬改定に向け、「不妊症指導管理料（仮）」（新設）のエビデンスとなる調査を開始、継続中
「不妊症外来における不妊相談体制の調査」結果を本学会誌に投稿
4. 平成29年度研究助成審査結果（上澤副理事長）
平成29年申請は1件を採択し理事会で承認
5. 第17回学術集会（野澤理事長）
第17回学術集会の日程と場所を報告
6. 平成30～32年度 理事・監事の選挙結果（野澤理事長）
12名の新理事・監事を報告

【審議事項】

1. 平成29年度収支決算ならびに会計監査（清水理事、村本監事、森[㊟]監事）
清水理事より平成29年度の一般会計及び特別会計の収支決算（案）を報告

森[㊟]監事より平成29年度収支決算に関して、監査を執行した結果、適切であったことを報告

* 報告事項に関し会場出席者の挙手により承認

2. 平成30年度事業計画案（野澤理事長）

- 1) 学会の将来構想の検討：将来構想をふまえた目標4点を提示
 短期目標1：生殖看護を定義し、概念化する
 短期目標2：生殖看護のコンピテンシーを明確にするための取り組み
 短期目標3：学会活動を見直し、会員の満足が高まるような活動充実をはかる
 短期目標4：関連職種・関連学会との具体的な連携をはかるための取り組み

2) 総務（事務局）

個人情報保護法に基づいた会員管理とホームページの運営・管理の実施
 関連団体・機関への会議出席や学会としての意見提出の実施と拡大
 理事・監事選挙管理に関連する事務業務

3) 常任委員会

(1) 実践開発委員会

相談員派遣業務
 不妊症看護認定看護師メーリングリストの運営

(2) 教育推進委員会

セミナーの開催および勉強会の支援、第13回生殖看護実践セミナーの開催
 第14回生殖看護実践セミナーの企画・準備、勉強会の開催支援、NL報告

(3) 広報委員会

ニューズレターの企画・編集および発行、関連学会等でのPR活動

(4) 編集委員会

日本生殖看護学会誌第16巻第1号の発行およびタイムスケジュール

(5) 将来検討委員会

研究助成関連の運営・管理および活用方法の検討（助成金の増額と応募期間の変更）
 ケアの質の向上に向けた将来検討委員会の取り組み
 国内外の情報収集と発信

4) 特別委員会

(1) 看保連ワーキンググループ

看保連の総会・臨時総会・委員会等に出席
 診療報酬点数化に結びつくエビデンス構築の推進

(2) 健やか親子21（第2次）ワーキング

健やか親子21推進協議会第4グループ委員会に参加
 国民運動における当学会ならではの役割を遂行

* 平成29年度の事業計画案は、会場出席者の挙手により承認

3. 平成30年度収支予算案の承認（清水理事）

* 平成30年度の収支予算案が提示され、会場出席者の挙手により承認

4. 次期理事長および副理事長の承認

理事長：上澤悦子理事
 副理事長：野澤美江子理事

* 次期3年間の理事長および副理事長が提案され、会場出席者の拍手により承認

5. 第17回学術集会の告知（坂上明子理事 次年度学術集会長）

武蔵野大学坂上明子理事より第17回学術集会の日程と会場を報告
 第17回学術集会
 会長：坂上明子氏（武蔵野大学看護学部教授）
 日程：2019年9月15日（日）
 会場：聖路加国際大学

平成 30 年度 収支予算書
(平成 30 年 9 月 1 日から平成 31 年 8 月 31 日まで) 日本生殖看護学会

一般会計

収入の部 (単位: 円)

大科目	小科目	予算額	備考
会費収入	年会費	2,900,000	360名×8000円 2名×10,000円
繰越金	前年度繰越金	5,142,151	
総収入合計 (A)		8,042,151	

支出の部

科目	小科目	予算額	備考
会議費		【850,000】	
	理事会会議費 総会費	800,000 50,000	往復はがき代
事業費	広報委員会	350,000	ニューズレター発行・リーフレット印刷
	教育推進委員会	130,000	セミナー開催・勉強会助成金
	実践開発委員会	70,000	Fine 祭り相談員の派遣
	編集委員会	420,000	学会誌発行
	将来検討委員会	50,000	勉強会開催
	学術集会補助費	300,000	第 17 回学術集会補助費
事務費	人件費	350,000	アルバイト(PC入力・HP管理)
	通信費	60,000	
	消耗品費	90,000	
団体登録料	日本看護系学会協議会	80,000	
	看護系学会等社会保険連合	70,000	
	日本不妊カウンセリング学会	10,000	
活動費	ワーキンググループ活動	【200,000】 200,000	看保連・すこやか親子 21
支出合計		3,030,000	
予備費等		5,012,151	
総支出合計 (B)		8,042,151	

特別会計：研究助成金積立金

(単位: 円)

小科目	予算額	備考
平成 30 年度積立金	0	一般会計より
平成 30 年度助成金	0	平成 30 年度は該当者なし
前年度までの積立金	938,112	
合計 (A)	938,112	

第13回 生殖看護実践セミナー開催のお知らせ

2018年7月28日(土)に開催を予定していた第13回生殖看護実践セミナーは、台風の影響により、以下に延期致しました。ぜひ、皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。

【テーマ】「不妊治療と心のケアにおける多職種連携」

【日時】2019年3月23日(土) 14:30~17:00

【場所】聖路加国際大学 アリス・C・セントジョンメモリアルホール(東京都中央区明石町10-1)

【目的】心理学を専門とする専門職による不妊女性へのアプローチの特徴について知り、日常の心理ケアを振り返ると共に多職種連携のあり方について共に考える機会とする。

【内容】1. 講演「不妊治療における心のケア 臨床心理士の立場から多職種連携へ」小倉智子氏(臨床心理士・生殖心理カウンセラー、NPO法人Fine/高橋ウィメンズクリニック) 講演「精神看護専門看護師と周産期の連携」二宮美香氏(リエゾン精神看護専門看護師、日本医科大学武蔵小杉病院)

2. ディスカッション

【参加費】 会員 無料 非会員 1,000円

【お申込み】参加ご希望の方は、お名前、ご所属、連絡先、会員番号を明記の上、3月8日(金)までにメール又はFAXでお申し込みください。

※なお、平成30年7月28日のセミナーにお申込みいただいていた方には、教育推進委員会より個別にメールでご参加の可否について、ご連絡をさせていただきます。

【お申込み・お問い合わせ先】日本生殖看護学会教育推進委員会 担当:青柳優子 e-mail: jsfn.edu@gmail.com FAX: 047-350-0654

これから行われる学術集会・研修会情報（2018年11月～2019年2月）

月	日	学会・研修会名	会 場	学会 HP / 運営事務局
11月	3日・4日	日本女性医学学会学術集会（第33回） 「もう一度原点に戻って未来を語ろう ～女性医学の楽市楽座～」	長良川国際会議場 岐阜都ホテル (岐阜県岐阜市)	http://www.congre.co.jp/jmwh33/overview.html 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-13 栄第一生命ビルディング コングレ中部支社 TEL : 052-950-3369 FAX : 052-950-3370 E-mail : jmwh33@congre.co.jp
	23・24日	日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会（第34回） 「糖尿病と妊娠-この重要な概念を 如何に次世代に伝えるか」	パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)	http://www.dm-net.co.jp/jsdp/annual-meeting/34.php 株式会社コンベンション・ラボ 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本6-4-12吉川ビル4F TEL : 042-707-7275 FAX : 042-707-7276 E-mail : jsdp34@conventionlab.net
12月	15日・16日	日本看護科学学会学術集会（第38回） 「不確かな時代に今問われる、確かな看護とは」	ひめぎんホール (愛媛県松山市)	http://convention.jtbcom.co.jp/jans38/summary/index.html 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン ミーティング&コンベンション事業部 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTB ビル7階 TEL : 06-4964-8869 FAX : 06-4964-8804 E-mail : jans38@jtbcom.co.jp
2月	9・10日	日本がん・生殖医療学会学術集会（第9回） 「拡げようーがん・生殖医療のネットワークを 全国に」	じゅうろくプラザ (岐阜県岐阜市)	http://j-sfp.org/ 事務局(株)ヒューマン リプロ・K 〒226-0003 神奈川県横浜市緑区鴨居6-19-20 TEL : 045-620-7560
	24日	日本生殖心理学会学術集会（第16回） 「Tsu-na-gu（繋ぐ）」	都市センターホテル (東京都千代田区)	http://www.jsrp.org/5

第9回関西地区勉強会のお知らせ

関西地区勉強会を下記日程で開催致します。

テーマ：着床前診断について考える・異数性検査を含めたその現状と課題

講 師：IVFなんばクリニック中岡義晴先生 IVFなんばクリニック庵前美智子先生

医師・遺伝カウンセラーより着床前診断について其々の立場から講義をして頂き、さらにグループワークでは講義から今後の看護に活かしていけるよう学びを深めていくことができると考えています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：平成30年12月2日（日）13：00～16：00 受付12：30より開始

場 所：IVFなんばクリニック（マーメイドホール）

参加費：会員1000円（非会員1500円）

定 員：50名（先着順）

申し込み方法 参加される方の氏名・会員か非会員・所属・職種・連絡先（電話番号とE-mail）を明記の上、平成30年11月19日（月）までに下記へメールで申し込み下さい。

お問い合わせ・お申込み HORACグランフロント大阪クリニック看護部門
佐野郁美 e-mail : sano354@ivfjapan.com

各地区で開催する勉強会の支援

教育推進委員会では、会員が主催する各地区の勉強会を支援したいと考えております。初めて企画を担当される方、あるいは自分たちの地区でもぜひ勉強会を開催したいけれどどうしたらよいかのわからない等、お気軽にご相談ください。

勉強会を企画されている代表者の方は、開催日時、開催場所、テーマあるいは内容、連絡先（住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス）等を下記の連絡先までご連絡下さい。また、日本生殖看護学会ホームページには、勉強会の企画に関する資料が掲載されていますので、参考になさってください。日本生殖看護学会のニュースレターやホームページにも広報を掲載することが出来ます。

勉強会等の運営費の助成

生殖看護の実践に関する勉強会を支援するために、勉強会等の運営費（1万円）を助成します。助成申し込み先が変更になりましたので、学会ホームページの「勉強会助成要項」をご確認のうえ、ご応募ください。

平成31年度研究助成のお知らせ

会員の皆様の研究活動支援として研究助成制度を設けています。研究活動を活発にするため、応募期間の延長と助成金を増額しました。詳細および申請書類は学会HP (<https://plaza.umin.ac.jp/jsin/>) をご参照ください。応募は平成31年1月1日～6月30日の間に受け付けております。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

研究助成募集要項

【研究助成の趣旨】 生殖看護の実践に関する調査・研究を支援するために会員を対象とし、研究費を助成し、生殖看護の発展を図ることを目的とする。

【助成の対象】 個人または共同の研究者を対象とする。

【応募資格】 1. 研究代表者は会員であって、会員歴2年以上である者。
2. 共同研究者は、申請時に本学会会員である者。

【助成金】 研究助成金は研究計画一編につき20万円を上限とし、助成件数は1～2件とする。

【研究助成期間】 平成31年9月1日～平成32年8月31日までの1年間とする。

【応募方法】 1. 学会所定の研究助成申請書に必要事項を記載し、2部（正1部、副1部）を下記担当者宛に「研究助成申請書在中」と朱書きし、書留で送付する。申請書類は返却しない。
2. 応募受付期間：平成31年1月1日（火）～6月30日（日）

【選考及び助成の決定】

研究助成審査会において選考審査の上、平成31年8月下旬に応募者に文書で通知する。選考に関する問い合わせには応じられない。

【助成金の使途】

研究活動に必要な物品費、旅費、通信・運搬費、印刷費などを含む。

【研究成果の報告】

1. 助成を受けた者は、研究終了後、その結果を理事長に報告する。
2. 研究成果は2年以内に日本生殖看護学会で発表し、さらに日本生殖看護学会誌に投稿する。
3. 研究成果を他に発表する場合には、日本生殖看護学会の研究助成を受けたことを明記する。

<お問い合わせ・申請書類送り先>

日本生殖看護学会将来検討員会委員長：野澤美江子

〒114-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 東京工科大学医療保健学部看護学科

e-mail: nozawa@stf.teu.ac.jp TEL/FAX 03-6424-2166

理事会報告

第2回臨時（書面）理事会

日時：2018（平成30）年4月20日（金）
場所：書面による。

【審議事項】

1. 入会審査：7名の入会を承認

第3回臨時（書面）理事会

日時：2018（平成30）年7月29日（日）
場所：書面による。

【審議事項】

1. 本学会誌15巻1号に関する対応を承認
2. NPO法人fine 後援依頼を承認

第3回理事会

日時：2018年8月10日（金）18時～20時
場所：聖路加国際大学本館5階506
出席者：野澤、上澤、青柳、實崎（学術集会長兼務）、有森（スカイプ）、崎山、清水、坂上、村上（スカイプ）、森、村本

【報告事項】

1. 選挙管理委員会：平成30～32年度 理事・監事の選挙結果報告
2. 第16回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況
3. 理事長：第17回学術集会長について
4. 広報委員会：広報委員会活動計画およびNL発行計画案
5. 教育推進委員会：第13回生殖看護実践セミナーについて
6. 実践開発委員会：Fine祭り2018の相談員派遣について
7. 編集委員会：学会誌 第15巻発刊の報告

8. 将来検討委員会：研究助成と研究論文投稿一覧・平成29年度研究助成者からの報告書について
9. 総務：平成30年総会要綱（案）の加筆修正依頼
10. 看保連対応WG：年会費値上げについて
11. 健やか親子21推進協議会WG：学会リーフレットに健やか親子21のイメージキャラクター掲載を提案

【審議事項】

1. 入会審査：4名の入会を承認
2. 平成29年度収支決算、および平成30年度予算案
3. 会計に関する覚書（案）
4. 学会ホームページトップ画面「被災地の皆様へ」の内容
5. 研究助成応募期間や助成金額の見直し
6. 新理事顔合わせ会

第4回理事会

日時：2018年9月8日（土）17時15分～18時10分
場所：JR博多シティ会議室J
出席者：野澤、上澤、森明、坂上、實崎（学術集会長兼務）、村上、清水、崎山、村本、森恵、青柳

- 2) すこやか親子21推進協議会の意見募集
- 3) 認定看護師制度の再構築について
5. 第17回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況：2019年9月15日聖路加国際大学で開催予定

【報告事項】

1. 第16回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況
2. 教育推進委員会：第13回生殖看護実践セミナーについて
3. 会計：平成29年度収支決算書（案）、平成30年度収支予算書（案）
4. その他：
 - 1) 日本看護系学会協議会総会報告

【審議事項】

1. 入会審査：1名の入会、23名の退会を承認
2. 平成30年総会要綱（案）を最終確認
3. 平成30年総会進行（案）を最終確認

研究論文を学会誌に投稿してみませんか？

本学会誌は日本で唯一の生殖看護に関する専門誌です。原著論文や報告などのいくつかの投稿種類を兼ね備えています。

ご自分の論文を仲間と共有し、あるいはご協力いただいた研究協力者の方に還元する機会として、学会発表にとどまらずぜひご投稿いただければと思います。生殖看護がより根拠に基づくものとなるよう、また、看護が対象に与える効果を社会に示すものとなるよう、多くの方の投稿をお待ちしております。

学会誌第16巻第1号の投稿締め切りは、2018年11月23日（金）必着です。投稿先が変更となりました。詳細については、学会HPに掲載する「論文投稿規定」をご確認ください。

事務局からのお知らせ

1. 第17回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailもしくはFaxで、気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めにお願ひ申し上げます。郵便局備え付けの振込票もご利用いただけます。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願ひ申し上げます。
5. 会員数368名（平成30年8月9日現在）です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing : JSFN
〒104-0044 東京都中央区明石町10-1
聖路加国際大学内
TEL & FAX 03-5550-2293 E-mail : jsin@slcn.ac.jp
ホームページ <http://jsin.umin.jp>
口座番号：00170-2-333414
加入者名：日本生殖看護学会

●次号の原稿締切日

ニュースレター第52号の原稿締切日は、2019年1月21日（月）を予定しています。
会員の皆さまにお知らせしたい情報などがございましたら、広報委員（實崎（じつざき）：jitsuzaki02@gm.oita-nhs.ac.jp）までご相談ください。

◆編集後記

9月には無事に（恐らく）学術集会を開催することができました。ご参加くださいました皆様、支えてくださった皆様には重ねて感謝申し上げますとともに、旭川からのご移動が叶わなかった皆様には心よりお詫び申し上げます。来年は久しぶりに東京で、新しい年号に代わって初めての学術集会となります。皆様方にお会いできることを今から楽しみにしております！
広報委員会 實崎美奈